

災害・防災学生ボランティア育成のための

「震災を学び、防災を考える現地学修」(陸前高田)を開催しました

2023年11月25日 開催

キーワード：イベント、災害・防災ボランティア、学生

開催場所：陸前高田市

岩手県立大学防災復興支援センターでは、災害・防災学生ボランティアを含む人材育成をミッションのひとつとして掲げております。今般、その一環として、本学学生を対象とした震災・防災学修および災害時・防災活動時のボランティア支援の在り方の学修を目的する現地学修企画を陸前高田市にて行いました。当センターとして学生を対象とする課外ボランティア研修事業を行うのは初めてでありましたが、滝沢キャンパス及び宮古キャンパスより計23名の学生からの参加希望があり、教職員3名の引率のもと、無事本事業を遂行いたしました。

11月25日の午前には、まず陸前高田防災減災フィールドにおいて、一般社団法人トナリノ様に避難所体験プログラムをコーディネートしていただきました。震災経験を持つ陸前高田地域住民の方から、東日本大震災当日の避難所での出来事や、ボランティアの心構え等をご指導いただいた上で、避難所での簡易トイレの準備方法や、炊き出し体験を行いました。

午後からは、東日本大震災津波伝承館において、陸前高田市および岩手県での震災対応に関する解説を受け、さらに高田松原津波復興祈念公園パークガイドの御案内のもと、震災以降旧道の駅タピック45内部の見学や復興祈念碑公園内の解説をいただき、東日本大震災の事実と、復興への道のりについて学びました。

参加した学生からは、「知ることができていなかった情報、現地の方の生の声を聞くことができて、とてもためになった」、「震災を伝えていく大切さを実感した1日になった」、「すぐにできる防災行動は実践していきたい」、「現在の被災地の様子をもっと詳しく学びたい」等の声がありました。

岩手県立大学防災復興支援センターでは、今後も地域防災の担い手としての人材育成活動に取り組んでまいります。

結びになりますが、今回の企画実施にあたり、ご尽力いただきました陸前高田の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

■開催概要：

- (1) 日時 2023年11月25日(土)
- (2) 場所 陸前高田市
- (3) 協力 一般社団法人トナリノ、東日本大震災津波伝承館、高田松原津波復興祈念公園パークガイド
- (4) 参加者数 滝沢キャンパス及び宮古キャンパスの学生23名 引率教職員3名

文責：杉安和也(総合政策学部)



陸前高田グローバルキャンパスにて：避難所ひとりあたりのスペース（2㎡）体験、
仮設トイレ用凝固剤体験、炊き出し（羽釜でお米炊き）体験 他



東日本大震災津波伝承館見学



震災遺構見学



奇跡の一本松前
にて

文責：杉安和也（総合政策学部）